

Book Fan Newsletter

発行:平成26年10月15日

編集:塩尻市立図書館

0263-53-3365

(Book Fan Newsletter 28号)

書店員が選んだ

今月のおすすめ本



『森ではたらく!』

古川大輔、山崎亮 / 編著 学芸出版社

林業家や製材屋、家具職人のように木を材料にする人。喫茶オーナーや森林セラピストのように森の魅力を引き出す人……。話題の青春森林映画『WOOD JOB!』の矢口史靖監督や原作者・三浦しをんさんの書き下ろしも加わり、「森」をテーマに働く27人の多種多様な想いや森の可能性がリアルに浮かび上がってくる1冊になっています。

(神田堂 大塚さん)



関連情報: 11/8(土)~11/21(金)の期間、塩尻市大門の映画館「東座」で、映画『WOOD JOB!』が上映されます。これに合わせて、図書館・本館では林業の本などをあつめたテーマボックスを行います。ぜひ両方ともチェックしてみてください!

『ふたりはいつも』

アーノルド・ローベル / 著 文化出版局

がまくんとかえるくんの春夏秋冬、ふたりの楽しい5話の冒険物語。季節感たっぷりのお話や自分の小さかった頃、友達との楽しかった学校生活など昔の事が思い出されてとても温かい気持ちにさせてくれるお話などが盛りだくさんな内容です。本当の優しさってなんだろうなって思ったときなどに読んでもらいたい1冊です。

(興文堂 アイシティ店 中沢さん)



『常備菜』

飛田 和緒 / 著 主婦と生活社

この秋に創設された「料理本レシピ大賞 in Japan」の大賞受賞作です。作って冷蔵庫にストックしておけば、ごはんに、お弁当に便利で美味しいおかずの数々を紹介します。肉・魚・野菜、乾物、卵で全94品、たれ・ソースで15品は、すべて和緒さんの家族の大好きな作りおきおかず。ちなみにご主人の大好物はマカロニグラタンだそうです。1ページに一品で保存の仕方も載っています。

(中島書店 中島さん)

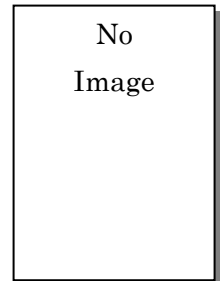


『PSYCHO-PASSサイコパス』

深見 真 / 著 KADOKAWA

西暦2112年。シビュラ・システムにより人の心理・性格的傾向を数値化することで完全管理された社会。秩序維持のため犯罪係数が上昇すると“潜在犯”として捕えられるようになった。システムを維持するのは潜在犯でありながら捜査の前線に立つ猟犬“执行官”と、キャリアであり执行官の手綱を握る“監視官”。新人監視官・常守朱は特殊拳銃“ドミネーター”を手に凄惨な現場を駆ける。

(中島書店 百瀬さん)



※画像のない本は、本紙発行時点で図書館に所蔵していない本です。

📖 この面に掲載されている本の紹介は、市内に本店のある4書店にご協力いただいています。📖

神 田堂 (52-1283)

注文品の迅速な手配を心がけており、地元著者の自費出版本など地域とともに活動しております。

興 文堂書店 (97-3949)

平田店では、11月3日までポーラ化粧品との共同イベント開催中。より一層〈美〉に磨きがかかるピカピカ企画です!

中 島書店 (54-3968)

「信州の、『山・里・街道』行ったり来たりフェア」あわただしい現代にあって、ちょっと立ち止まり見つめ直したい、信州の豊かな暮らしを提案します。

丸 文塩尻書店 (52-5515)

肌寒い季節が近づいてきました。

ゆるソックス好評発売中!



『あらすじと図解でよくわかる「ビジネス書」のきほん』

山田 案稜 / 著 翔泳社

自己啓発、起業、マーケティングと幅広い内容の中から厳選した本を紹介した、初めてビジネス書を選ぶ人向けのガイドブック。仕事の基本からビジネス小説まで、いくつかのジャンルに分けてそれぞれの本のあらすじとポイントが紹介されており、何を読みたいのかわからない方も、本を探すヒントを得ることができる1冊です。

(しごと情報担当 矢ヶ崎)



『ちいさな城下町』

安西 水丸 / 著 文藝春秋

2014年3月に逝去された安西水丸さん最後のエッセイ集です。水丸さんが全国を訪ね歩いた中から、“有名すぎない”ローカル城下町の歴史、暮らしや食べ物を文と絵で紹介しています。

長野県からはゆったりとした旅ができそうな城下町、飯田市の飯田城址が紹介されており、その魅力や意外な歴史を知ることができます。

(文学担当 村上)



『げたにばける』

新美 南吉 / 作 鈴木 靖将 / 絵 新樹社

お母さんたぬきから化ける事を教わっている子どもたぬき。なかなかうまくいきませんが、なぜか下駄に化ける事だけは大変上手でした。下駄に化けて木の下に転がっていると、一人の侍がやってきて、たぬきの化けた下駄を履いて歩いていってしまいました。子どもたぬきはいまにもつぶれそうになり…。お母さんたぬきと一緒ににはらはらする絵本です。

(児童書担当 浦野)



『原作と映像の交叉光線(クロスライト)』

千街 晶之 / 著 東京創元社

ミステリー小説や漫画が原作となった映画、ドラマ、アニメなどの映像作品についての評論集です。評論というと堅く感じるかもしれませんが、2000年以降の作品にしぼって紹介されており、最近の話題作も多く出てくるので親しんで読むことができます。原作が好きな方にも映像作品が好きな方にもおすすめの1冊です。

(芸術分野担当 鳴海)



『三国志名言集』

井波 律子 / 著 岩波書店

「正史三国志」より千年あまりを経て、14世紀中頃に語り物を集大成した「三国志演義」から、名場面での名言や名台詞をとりあげた本。“演義”は、“正史”とは異なり、群雄割拠のエンターテインメント物語ですが、登場人物が先達から学んだ成句の数々に現代を生きる私たちも学ぶことがたくさんあるように思います。テンポの良い名言の深みを名場面とともにじっくりと味わってみてください。

(外国文学担当 北島)



『敬語・方言・位相語』

山口 理 / 著 偕成社

日本語について、マンガと登場キャラクターたちの会話で紹介する「国語おもしろ発見クラブ」シリーズ。この巻では、間違いやすい「敬語」の使い方、ぬくもりのある「方言」、知って楽しい「位相語」について気軽に学ぶことができます。日本語のおもしろさを通して、その背景にある歴史、地理、伝統なども見えてくる1冊です。

(児童書担当 三守)

